

平成18年10月26日
統計部公表

平成18年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

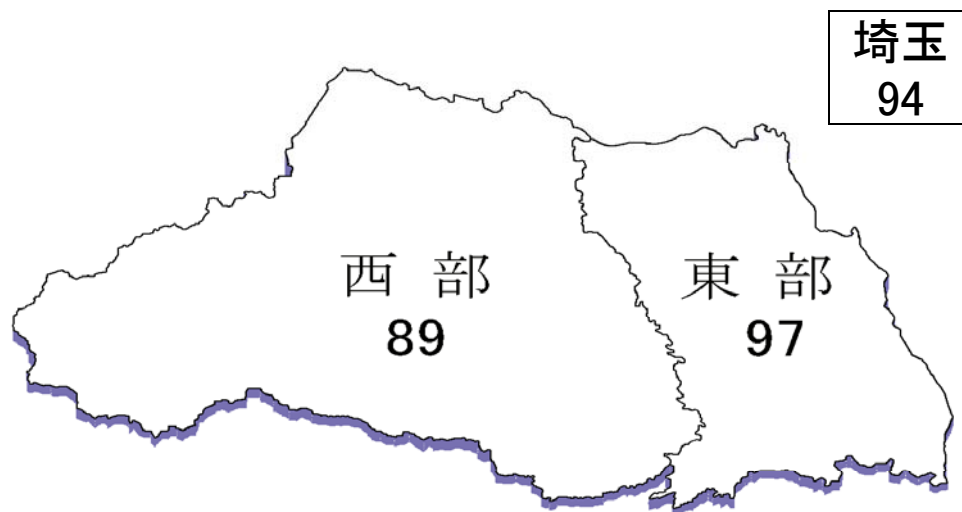
（埼玉県）

－ 作況指数は94の見込み－

【調査結果の概要】

- 1 埼玉県における平成18年産水稻の子実用作付面積は3万7,200haで、前年産並みである。
- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、作況指数94で、10a当たり収量は466kgが見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量は17万3,400tで、前年産に比べ1万900t（6%）の減少が見込まれる。

作柄表示地帯別の作況指数



- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率である。
- 調査は、刈取り実測により行ったが、刈取りを終えていない地域は、その後の登熟について気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/1026suitou_s/suitou-1015_s.xls】

本統計の目的などは、【調査の仕様】P6に掲載しています。

【解 説】

1 作付面積

水稻の子実用作付面積は3万7,200haで、前年産並みである。

2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、穂数が「少ない」ことから、1穂あたりもみ数は「多い」ものの、平年に比べ「やや少ない」となった。
- (2) 登熟は、日照不足等の影響が比較的少なかった東部においては、「平年並み」が見込まれる。日照不足の影響が大きく、9月下旬以降の高温で枯れ上がりが進んだ西部は「やや不良」が見込まれる。
- (3) 以上のことから、作況指数94で、10a当たり収量は466kgが見込まれる。なお、作柄表示地帯別の作況指数は、東部97、西部89が見込まれる。

3 予想収穫量

水稻の予想収穫量は、17万3,400tで前年産に比べ1万900t（6%）の減少が見込まれる。
これは、作付面積は前年産並みであったが、10a当たり（予想）収量が28kg（6%）減少したことによる。

【統計表】

1 作付面積及び予想収穫量

区 分	作付面積	10a当たり (予想) 収量	予想収穫量	10a当たり 平年収量	作況指数	前年産との比較		
						作付面積		10a当たり
						対差	対比	対比
	ha	kg	t	kg		ha	%	%
県 計	37 200	466	173 400	495	94	△ 100	100	94
東 部	24 500	489	120 100	506	97	△ 100	100	97
西 部	12 700	420	53 200	474	89	0	100	89

注：表中の「△」は、減少したものを示す。

2 刈取期及び刈取済み面積割合

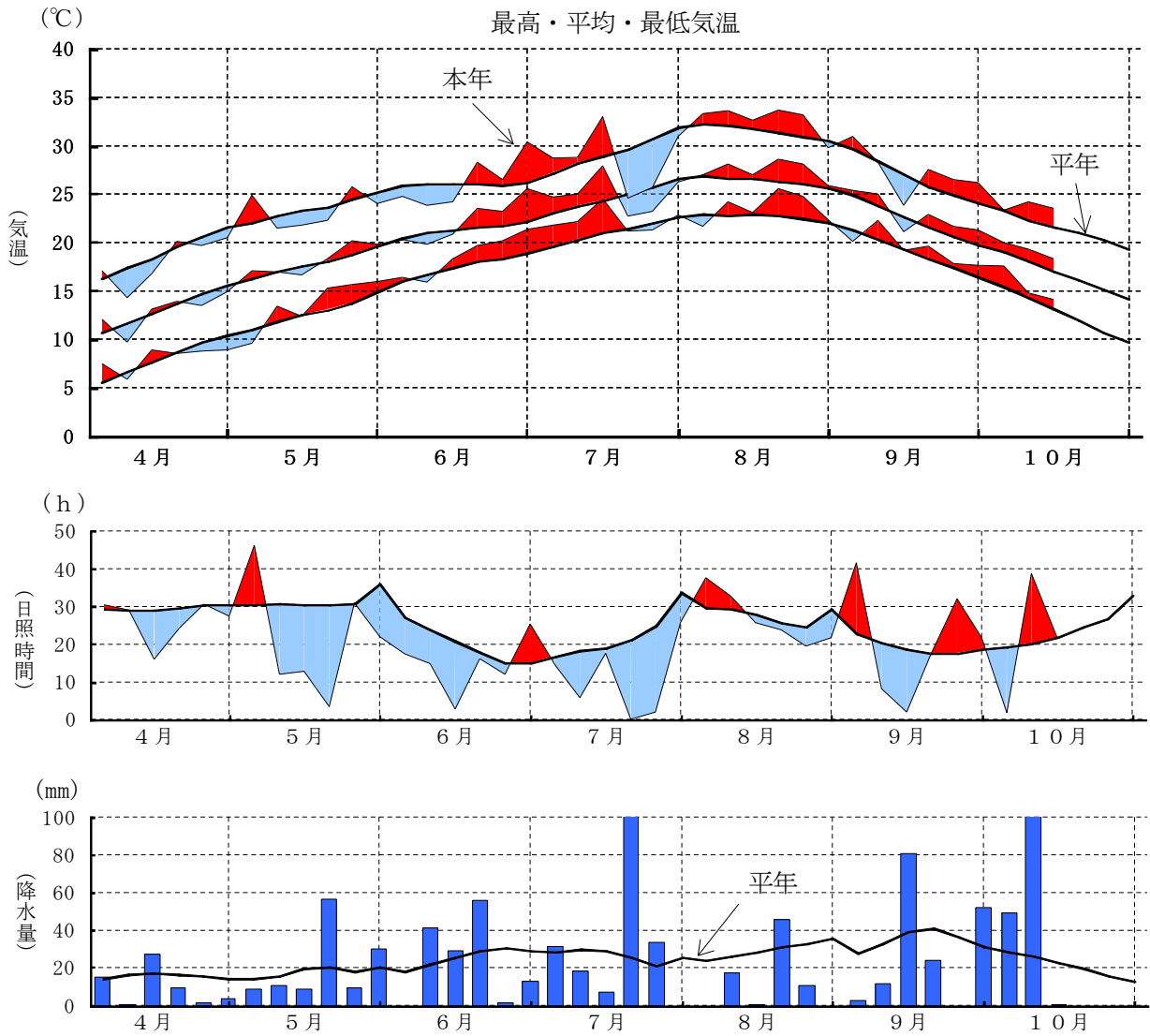
区 分	刈 取 期					10月15日現在	
	始 期	最 盛 期	終 期	最 盛 期 の 遅 速		刈取済み 面積割合	対平年差
				対 平 年	対 前 年		
	月 日	月 日	月 日			%	ポイント
県 計	9. 3	9.25	…	1日早	1日遅	88	△ 1
東 部	9. 2	9.22	…	並み	3日遅	91	0
西 部	9.16	9.28	…	3日早	3日早	82	△ 2

注：1 刈取期の始期は、刈取済み面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考 1】

平成18年 半旬別の気象（熊谷）



(資料：熊谷地方気象台)

【参考 2】

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

本調査における予想収穫量は、飯用に供し得る玄米の量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規定三等以上の品位を有し、かつ、ふるい目幅1.7mm以上に選別された玄米の重量としている。
 農家等が選別に用いるふるい目幅は地域、品種等により異なるため、調査日現在までに調査が完了したものについて、ふるい目幅別重量割合と該当目幅でふるった場合に得られる10a当たり収量の試算を示すと次のとおりである。
 なお、重量割合の平均対差に用いた平均値は、直近5カ年の平均値である。

単位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント

区 分	合 計	ふ る い 目 幅						
		2.00mm以上	2.00mm未満 ～ 1.90mm以上	1.90mm未満 ～ 1.85mm以上	1.85mm未満 ～ 1.80mm以上	1.80mm未満 ～ 1.75mm以上	1.75mm未満 ～ 1.70mm以上	
県・作柄表示地帯								
埼玉								
重量割合	本年値	100.0	54.1	32.6	5.7	4.1	2.1	1.4
	平均対差		5.2	△ 3.0	△ 1.1	△ 0.6	△ 0.1	△ 0.4
東 部								
重量割合	本年値	100.0	58.2	30.5	4.9	3.6	1.7	1.1
	平均対差		8.4	△ 4.9	△ 1.7	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.4
西 部								
重量割合	本年値	100.0	46.5	36.3	7.3	5.0	2.8	2.1
	平均対差		△ 0.6	0.2	0.1	0.2	0.4	△ 0.3

単位：kg

区 分	10a当たり 収 量 (1.70mm選別)	選別ふるい目幅別10a当たり収量					
		2.00mm 選 別	1.90mm 選 別	1.85mm 選 別	1.80mm 選 別	1.75mm 選 別	1.70mm 選 別
県・作柄表示地帯							
埼玉	466	252	404	431	450	459	466
東 部	489	285	434	458	475	484	489
西 部	420	195	348	378	399	411	420

【関連するデータ】

水稲（子実用）の年次別推移（埼玉県）

年 産	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	ha	kg	t		kg
昭. 40	78 300	328	256 800	91	360
41	78 200	322	251 800	90	358
42	78 100	336	262 400	95	354
43	77 400	368	284 800	105	350
44	76 600	369	282 700	105	350
45	68 900	368	253 600	105	350
46	61 200	347	212 400	97	356
47	60 700	396	240 400	111	356
48	60 200	401	241 400	110	363
49	63 000	361	227 400	97	371
50	63 000	417	262 700	112	371
51	62 900	404	254 100	106	380
52	62 400	391	244 000	101	388
53	56 100	404	226 600	102	395
54	54 300	394	213 900	100	395
55	55 200	378	197 300	96	395
56	49 400	381	188 200	95	402
57	48 400	330	159 700	82	402
58	48 800	361	176 200	90	402
59	49 400	452	223 300	112	402
60	49 400	449	221 800	111	405
61	48 400	434	210 100	106	410
62	45 300	478	216 500	115	414
63	44 400	427	189 600	101	421
平. 元	43 900	457	200 600	107	427
2	43 300	466	201 800	108	433
3	42 600	459	195 500	105	437
4	42 700	470	200 700	106	442
5	42 800	413	176 800	93	446
6	44 300	495	219 300	111	446
7	42 800	486	208 000	108	450
8	40 000	515	206 000	113	454
9	39 600	494	195 600	107	463
10	37 500	450	168 800	96	470
11	37 500	481	180 400	100	481
12	37 300	494	184 300	101	489
13	36 800	488	179 600	100	489
14	36 700	482	176 900	98	493
15	36 700	464	170 300	94	493
16	37 300	529	197 300	107	493
17	37 300	494	184 300	100	495

【調査の仕様】

1 調査目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査のうちの作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積、作柄状況、予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。
なお、県内における作柄表示地帯の区分は以下のとおりである。

区分	市	町	村
東 部	さいたま市、川口市、鴻巣市、上尾市、草加市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、伊奈町、行田市、加須市、羽生市、騎西町、北川辺町、大利根町、春日部市、越谷市、久喜市、八潮市、蓮田市、宮代町、白岡町、菖蒲町、三郷市、幸手市、吉川市、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町		
西 部	川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、三芳町、毛呂山町、越生町、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、本庄市、美里町、神川町、上里町、熊谷市、深谷市、江南町、寄居町		

3 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

4 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員の実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめた。
- (2) 予想収穫量調査
調査は、作況標本筆及び作況基準筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめた。

5 調査客体数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：975単位区 巡回・見積り：71市町村
- (2) 予想収穫量調査
作況標本筆：180筆 作況基準筆：41筆 巡回・見積り：71市町村

6 用語の解説

10 a 当たり平年収量とは、作物の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

7 利用上の注意

- (1) 予想収穫量調査(10月15日現在)は、刈取り実測により行ったが、刈取りを終えていない地域は、その後の登熟について気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- (2) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1 000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)		2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	123 500	12 300	1 230	123

- 本統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。
アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】
又は、関東農政局トップページ▶統計データ▶平成18年度

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部生産流通消費統計課
生産統計第2係

電 話：(代表) 048 (600) 0600 内線3631
(直通) 048 (740) 0588

担当者：風神・関口

◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電 話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613
(直通) 048 (740) 0575